

決算に対する討論の概要

政進会

賛成

○全会計の決算に賛成

▽令和3年度は、その予算策定の段階から1カ月後の状況すら想定が難しかった混乱期でしたが、予算執行に際しては柔軟に対応し、致命的なミスもなく見事に乗り切ったと感じています。▽市税や地方譲与税などは当初予想を大きく上回る結果となりました。決算剰余金は将来の財政運営を見据え、適正に運用されることを期待します。▽市債の市民1人当たりの残高は、県内市において最少を堅持しています。基金残高では、財政調整基金が一般的に望ましいとされている標準財政規模の10%以上を確保しており高く評価します。しかし、ウクライナ情勢の見通しが立たない中でもあり、他市の状況も踏まえながら、さらなる積み立ての検討も願います。▽集団接種会場における接種体制、会場までの移動支援などにより、県内でも高い接種率であった新型コロナウイルスワクチン接種事業は、高く評価されるべきものと考えます。今後も、これまでの知見を生かしつつ、国の動向も注視しながら対応をお願いします。▽甚大化する災害などに確実に対応するため、老朽化した消防署南分署の移転・建て替えを進めていることや、児童数増加に伴う教室不足の解消を図るとともにGIGAスクールを踏まえた学校のモデルとして今泉小学校の校舎増築が行われたことなど、さまざまな施策が推進されたことを高く評価します。▽コロナ禍に起因するさまざまな混乱は、一部の職員の方々に過重な負担をお願いすることになりましたが、その後のフォローなど気を配っていただきたと思います。▽今後は、世界情勢の不安定化に伴う物価高騰など、市民生活に多大な影響を及ぼすような大変困難な状況が予想されます。職員一丸となって立ち向かい、この困難を乗り越えていただくことを期待します。

公明党

賛成

○全会計の決算に賛成

▽令和3年度は、市制施行50周年を迎えた節目の年であると同時に新型コロナウイルス感染症の影響が続くという厳しい状況でありました。将来負担比率は、市債の元金償還が進み地方債残高が減少したことや財政調整基金、公共施設等あんしん基金などの基金残高が前年度と比較し増加したため、前年度比4・0ポイント減少し28・7%になっています。他の財政指標などの比率も国が定めた基準を大きく下回っており、本市の財政の健全性は財政健全化法上問題ないことにより、良好な財政状況が堅持されたと高く評価しています。▽最も大切な市民の命を守るため、新型コロナウイルス予防接種事業が迅速かつ円滑に実施され、ハード面では新たなまちづくりとして、厚木駅南区市街地再開発事業や市街化区域編入を支援する事業が力強く推進されました。▽甚大化する災害に対応するため老朽化した消防署南分署の移転と建て替え整備が進められています。今後もあらゆる災害に備え全庁で連携した万全な体制づくりを要望します。▽ソフト面では50周年記念プレミアム付商品券の発行事業が行われ、市民の生活支援と地域経済の活性化が図られたと評価しています。▽病児保育が開始され、その運営の安定化を図るため病児・病後児保育を行う民間事業者に、国、県の補助金を活用した支援が行われました。児童生徒の増加に伴う今泉小学校の増築工事や公立中学校における完全給食の再開を目指した新たな学校給食施設建設の設計事業なども実施され、未来を担う子どもたちの施策が推進されたと評価しています。▽今後も人口増加が見込まれており、住み続けたいまちとして選ばれたいと魅力を広げ、住み続けたいまちとして選ばれたいことを期待しています。



志政会

賛成

○全会計の決算に賛成

▽令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して事業の選択を実施したことなどにより、一般会計の市債残高が減少しました。将来負担比率も前年度より4・0ポイント減少して28・7%となり、引き続き早期健全化基準を大幅に下回っていますので、財政健全化法上まったく問題ないと認識していますが、本市は大谷・杉久保地区の公園整備計画や海老名駅東口自由通路の延伸など、まだまだ、まちづくりの途中段階ですので、今後の動向に注視が必要です。▽令和3年度はコロナ禍でありながら、市民の皆さまが健康で活力のある生活を笑顔で営むための事業が推進されたと感じています。▽姉妹都市の登別市から友情の証として譲り受けたポニー、チョコエビの2世としてココアが誕生し、同じく譲り受けたミルクビーナと3頭仲良く運動公園で暮らしています。今後も、私たちに癒しと笑顔を届ける存在として成長を期待しています。▽勝瀬保育園では令和3年度に引き継ぎ保育を実施し、今年4月に民営化が実現しました。引き続き保育サービスが向上されるよう連携をお願いいたします。▽市内初の病児保育が開始されました。病後児保育と併せて運営され、子育て支援の充実が図られたことを評価します。▽新型コロナウイルス感染症拡大の防止と重症化予防のため、市内約40の医療機関と連携した個別接種体制の整備や、会場までの移動支援を含む集団接種会場、夜間接種会場の運営など、職員一丸となってワクチン接種事業を推進したことを高く評価しています。▽今なお収束の兆しは見えませんが、コロナに負けず、これからも市民の皆さまが笑顔で暮らせるよう、さまざまな施策の推進をお願いいたします。



令和3年5月7日生まれのココア